

所感

- Dojoの本格稼働までは調整か.
- このタイミングということは、昨年のAI Dayで人材獲得うまく行ったのかな.
- @elonmask FSDのSingleスタック化はまだ?
- Optimusの登場は順延? CyberTruckの来年登場も微妙か.

記事(TESLARATI)の意訳

テスラがカナダにフルセルフベータシステムを展開し始めた際、テスラCEOのイーロン・マスクは、同社のAIディレクターであるディープラーニングの専門家でOpenAI創設メンバーのアンドレイ・カーパシーが現在~4ヶ月のサバティカルをとっていることを明らかにしました。Karpathy氏はTwitterでこのニュースを確認した。

AIディレクターによると、彼は現在、休養と旅行のためにテスラをしばらく休んでいるが、集中力を高め、技術的なエッジを再び研ぎ澄ますことにも興奮しているとのことだ。AIディレクターはさらに、電気自動車メーカーでの仕事に戻ることを楽しみにしていると述べています。

😊 <https://t.co/R2Yidw9Yma>

- アンドレイ・カルパシー (@karpathy) 2022年3月27日

Twitter@karpathy

「テスラでの約5年間の勤務を終え、休養と旅行のためにしばらく時間を取ることにしました。特に、自分の技術力を再び磨き、ニューラルネットを訓練するために集中する時間が取れることに興奮しています。しかし、私はすでにすべてのロボットとGPU/Dojoクラスタを逃しており、再び私の指先にそれらを持つことを楽しみにしています」とKarpathyはTwitterに書きました。

AIディレクターのサバティカルは、オートパイロットと完全自動運転の開発における彼の役割を考えると、テスラ支持者にとって心配なニュースに思えるかもしれませんが、Andrej Karpathy氏が同社の自動運転への取り組みを成功への潜在的な道に導くのに貢献したことは否定しがたいことです。

Karpathyがサバティカルを終えてテスラに戻ってくると、いくつかの重要かつエキサイティングなプロジェクトが待っています。その中には、オートパイロットとFSDのトレーニングを加速させることが期待される同社のスーパーコンピュータ「Dojo」の

Andrej Karpathy氏は、人工知能やディープラーニングの分野で最も豊富な経験を持つ専門家の一人とされています。スタンフォード大学では、同大学初のディープラーニングの授業「CS 231n」を設計し、主講師を務めています。視覚認識のための畳み込みニューラルネットワーク"を設計し、同大学初のディープラーニングの授業の主講師となる。このクラスは、2015年に150人だった履修生を2017年には750人にまで増やし、スタンフォード大学最大級のクラスに成長した。

また、Karpathyは、一時期イーロン・マスクと関係があったOpenAIの創設メンバーであり、リサーチサイエンティストでもあった。テスラのAIディレクターとして採用される前は、OpenAIで生成モデルの深層学習や深層強化学習に取り組んでいました。Karpathyは現在、テスラのオートパイロットのコンピュータビジョンチームを率いており、データ収集やニューラルネットワークのトレーニングなどに注力している。